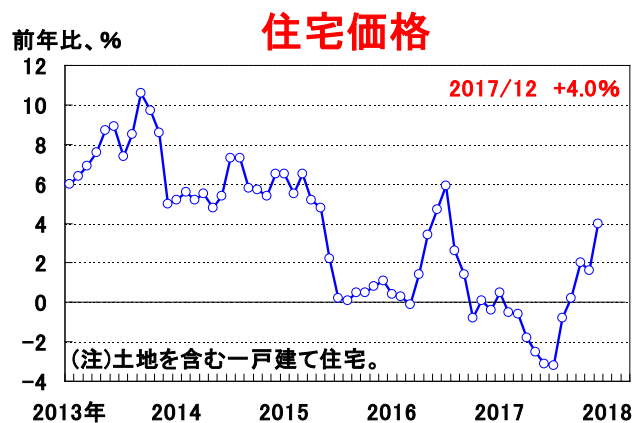
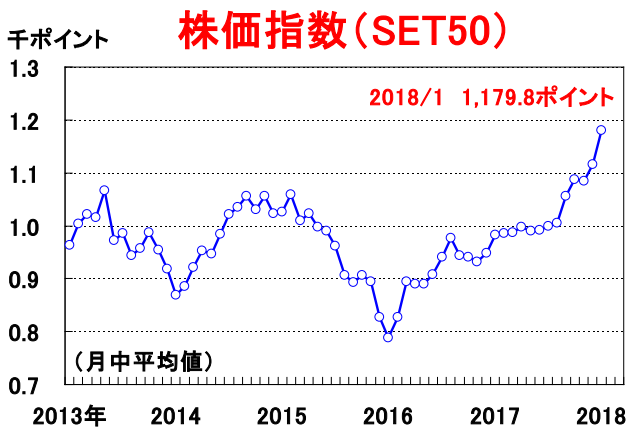
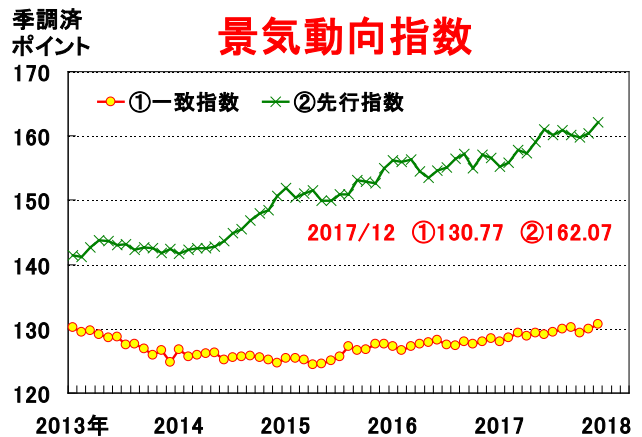
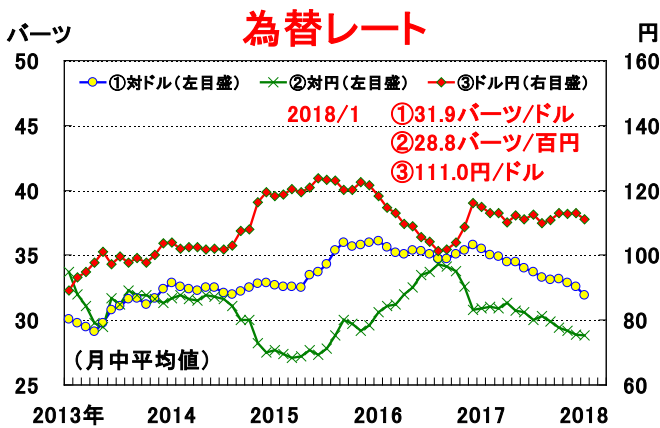
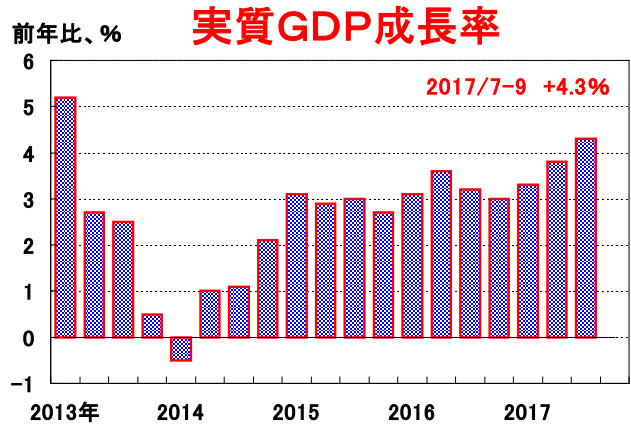
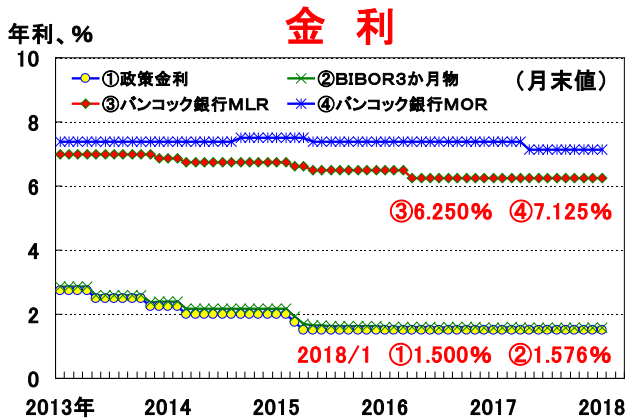


# グラフで見るタイ経済 2018年2月号(No. 104)

タイ景気は回復している。2017年12月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が130.77と2か月続けて改善したうえ、先行指数も162.07と最高水準を記録した。企業部門では、輸出が前年比+8.6%と中国向けの増勢鈍化により減速したものの、主力産業の自動車の生産台数は同+15.8%と1年半ぶりの高い伸びとなった。自動車の輸出が加速し、国内販売も底堅く増加した。民間投資指数も前月比+0.2%と4か月連続で高まった。足元の2018年1月の企業景況指数は52.2と9か月続けて中立水準の50を上回っている。



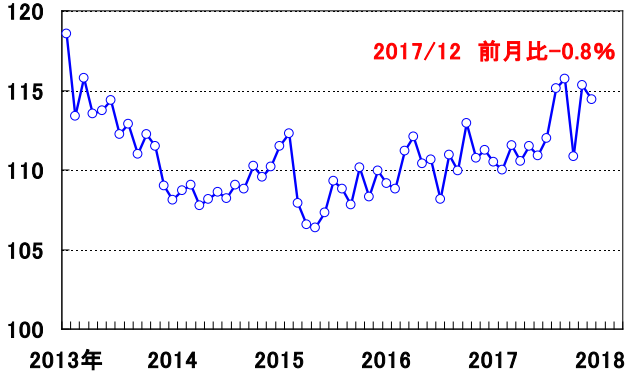
**【今月のトピック:タイ財務省が経済見通しを上方修正】** 1月29日に発表された月次報告書で、タイ財務省は経済見通しを上方修正した。2017年の経済成長率は3か月前の予測値の3.8%が4.0%に引き上げられた。あわせて、2018年の成長率も3.8%から4.2%へ引き上げられた。2018年のタイ経済は、政府支出とインフラ投資を牽引役として成長することが見込まれている。2017年は輸出や観光が想定よりも力強く増加しており、こうした動きが2018年も持続することが予想されている。輸出先の景気拡大の持続により、タイパーツ高の影響は軽微にとどまると政府関係者はみている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

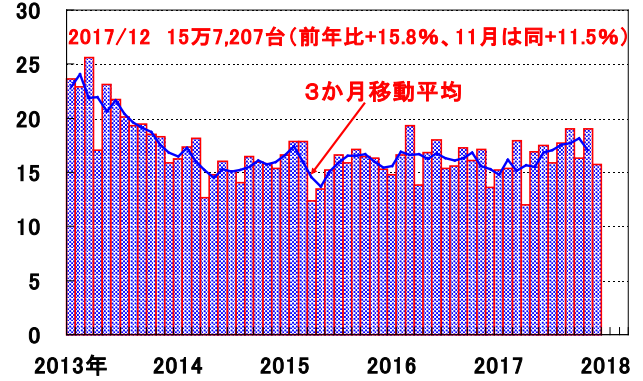
季調済  
2000年=100

### 工業生産指数

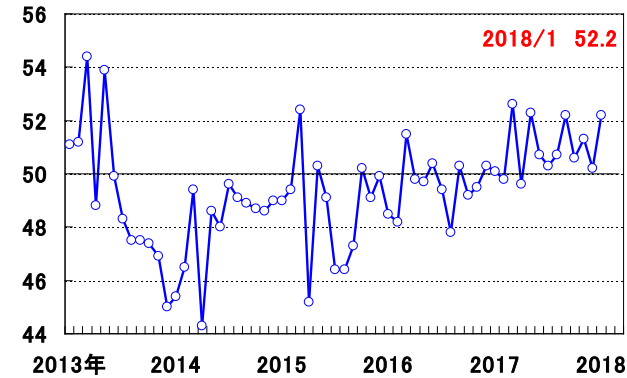


万台

### 自動車生産台数

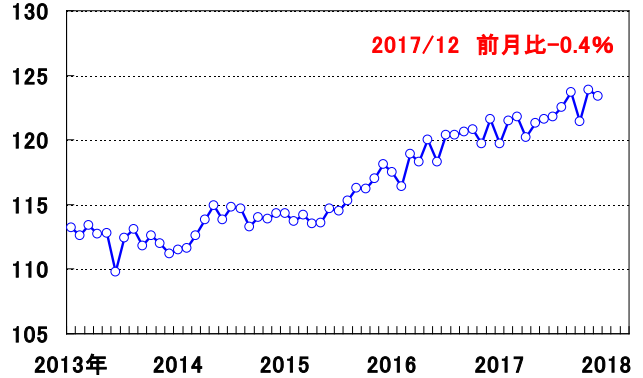


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



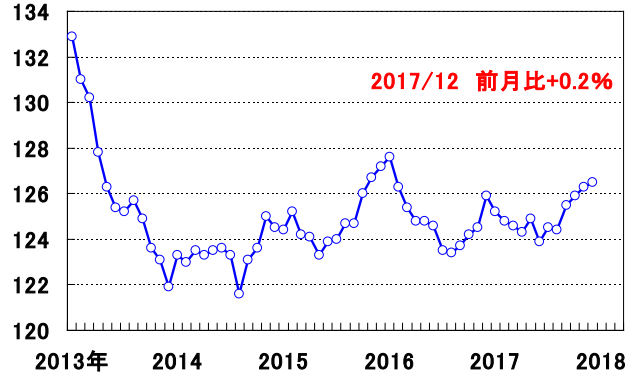
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数

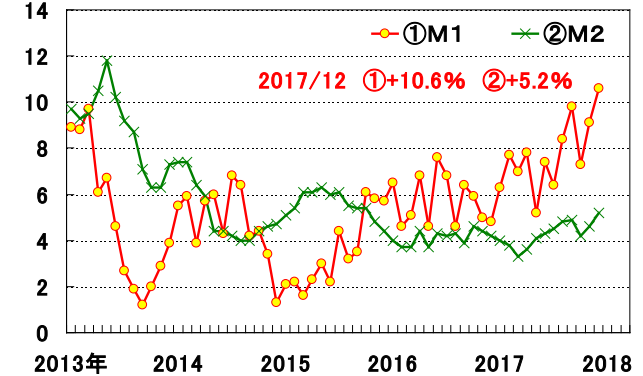


季調済  
2010年=100

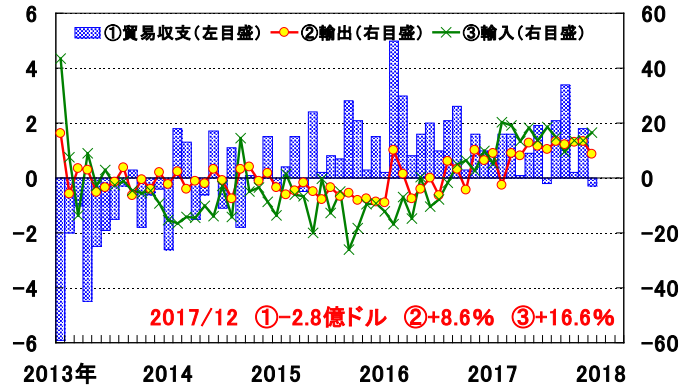
### 民間投資指数



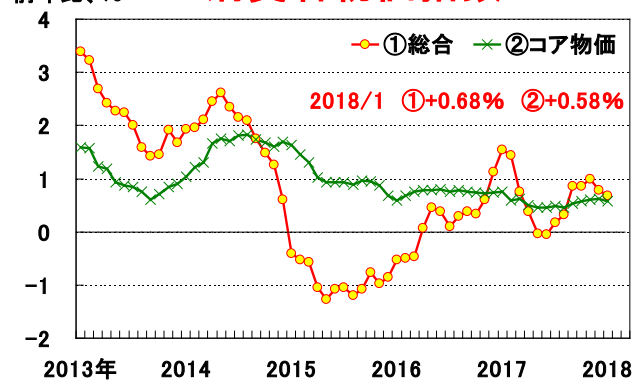
前年比、% マネーサプライ



10億ドル 貿易収支



前年比、% 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。